

(資料1)

研究課題	1 希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究
研究目的・背景	岩手県において絶滅の危険性が高まっている植物を対象に「種の保存」を進める増殖技術の開発を検討する。特に本県の歴史や、文化・産業に深いかかわりを持つ植物を対象にする。本研究で開発した技術は、国内の絶滅危惧植物の種の保存および本県の環境保全政策に役立てるのはもちろん、地域の産業振興や農業振興などの高度な要求に応えられるように取り組む。
研究内容	(24年度～28年度) ・試験対象種の現状調査 自生地および個体数調査 ・増殖に関する研究 増殖法の開発と培養苗の地域供給（生息域外保全試験） ・地域資源の活用に関する研究 品種開発・知的財産権取得の検討、普及
評価結果	○総合評価 A(3人)・B(2人)・C(人)・D(人) ○総合意見 ・これまで成果を挙げられており、希少植物の保存の観点から研究の必要性・重要性は大いに認められる。対象とする種を具体的に絞り、「利用」に関しては、他機関と十分に打ち合わせて下さい。 ・岩手県独自の品種の保護と産業振興、県民のモラル向上に貢献できる研究事業と思います。なお、事前評価の新規研究の提案はもっと詳細に説明いただくように配慮下さい。 ・重要なテーマであり早急に成果が求められる研究であることから多施設での集中的な研究により、具体的な成果を挙げることを期待する。 ・産業振興、農業振興を行うことは重要であるが、これについては、農業試験場や農林部の県のニーズとの関連性を考慮して行う。 ・5年間の年度ごとの研究計画・内容をもう少し具体的に示してほしい。ただ漠然と5年間続けるだけの印象を持ってしまう。
センターの対応方針	1 研究計画のとおり実施 本研究対象植物の「種の保存」に係る増殖技術の開発を検討し、絶滅危惧植物の種の保存などの県の自然保護政策に寄与するとともに、岩手県農業研究センター、市町村、岩手県農産物改良種苗センターなどの関係機関と連携し、その成果を活用した地域の産業振興や農業振興の取組みに寄与できるよう努めたい。